

要請番号 (JL02417B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・ 2018/1 ・ 2018/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ルアンナムター教員養成校

3) 任地 (ルアンナムター県ルアンナムター郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は全国に8校ある教員養成校の1つで、主にルアンナムター県、ウドムサイ県、ボケオ県の3県から生徒が集まる。生徒総数は1500名で教員の養成が主な役割だが、現職教員に対するアップグレード研修も実施している。青年海外協力隊(JV)が派遣される初等教育学部の小学校教員養成課程の生徒数は250名、教員数は40名、隣接する付属小学校の生徒数は60名、教員数は3名である。2017年度1次隊で数学教育、理科教育のJVが派遣される予定。ルアンナムター県は2016年から開始されたJICA技プロ「初等教育における算数学習改善プロジェクト(2022年まで)」の対象県である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオス政府は2020年までに後発開発途上国からの脱却を目指しており、貧困の根本的解決に向けた優先分野の一つとして、教育分野でも積極的な取り組みが行われている。各国の援助もあり、就学機会は改善されてきてはいるが、依然として、四則計算など、生徒の基礎計算能力は低いレベルにある。配属先には、過去に数学教育と理科教育のボランティアが派遣され、教材作成や実験指導に取り組んだ。これらの活動が評価され、小学校教育(算数)に関しても、教材作成やモデル授業の実施を通じ、教員と教員の卵である生徒の教授法改善が期待され、要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚教員と共に生徒が理解しやすい授業方法、指導方法を考える。
- 2.同僚教員に対して、算数の教具・教材の作成や扱い方について支援、助言する。
- 3.付属小学校で小学生に算数のモデル授業を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

黒板、三角定規

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 同僚:小学校教員養成課程算数担当8名、付属小学校教員4名(男女各2名)
- ・ 生徒:教員養成校小学校教員養成課程250名、付属小学校60名

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）

[学歴]：（大卒） 備考：教員養成校での指導のため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：教員養成校での指導のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（10～35℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】